



ヨゼフ・アベイヤ司教認可  
発行所 福岡教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行人  
カトリック福岡教区  
編集人 山元 真  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡教区  
定価 1部70円

5月の意向

【教皇の意向】 修道士・修道女と神学生の養成  
【日本の教会】 子どもの成長  
教皇の意向のために祈りましょう

5月 聖母マリアの月に寄せて  
聖母マリアに育てられる私たち

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



マリアの想い  
画：稲葉 人志（鳥栖教会所属）

五月は伝統的にカトリック教会でマリア様に捧げられた月です。信者の心に深く根付いている伝統です。この月、世界の様々なところにある、聖母マリアに捧げられた有名な教会には多くの人々が集い、マリアへの尊敬を表します。聖母マリアを身近に感じる信者は多いです。教義はそんなに詳しく知らないかも知れませんが、母なる聖母マリアを通して神の慈しみを感じ、信仰の道を歩むための力をい

ただの心は、カトリック教会の一大事な宝だと思えます。新約聖書の使徒言行録で、イエスが復活された後、イエスの母であるマリアとともにエルサレムに残っている弟子たちの共同体の姿が伝えられています（使1・12・14）。彼らは、イエスとともに過ごした時のことを思い起こし、イエスの生涯とその死について考え、イエスとの新た

な関わり方に目覚めていくときだったと思います。彼らとともにいるマリアは、わが子イエスとともに過ごした体験（ルカ2・19参照）を皆に語ったろうと思います。マリアは、戸惑いながら歩み始める初代教会の歩みを支えたのです。神の望みに対して「はい」と答えられたマリアは、神の国を信じ、福音を伝えるように派遣された弟子たちを励ましたことでしょう。

私たちは、神の国を実現していくために必要とされている愛情と情熱をマリアから学びます。また、教会が毎日晩の祈りのときに唱える「マリアの賛歌」は、私たちに祈りを教え、神の国の新たな現実を目覚めさせます。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます」（ルカ1・45・54）。

マリアの賛歌にあるように、現代世界においても、貧しい人々、差別され排除されている人々、圧迫されている人々はいまいます。また、戦争の中で命が奪われたり、すべてを失っている人々もいます。しかし、マリアが宣言しているように、神の望みに応える生き方を選ばずなら、それがひっくり返されます。「主はその腕で力を振るい、思いあがる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き下ろし、身分の低い者を高く上げ、飢えた者を良い物で満たし、富める者を空腹のまま追い返されます」（ルカ1・51・53）。神と人々への愛に満ちている心から生まれた、聖母マリアのことばです。

皆さんに是非お勧めいたします。この五月に、毎日ロザリオを唱えて、そして最後に、深く味わいながら「マリアの賛歌」を唱えてください。このマリアのことばに、私たちは信仰者として、また、宣教師として育てられていきます。マリアの月は恵みの時になります。ヨゼフ・アベイヤ

時の話題

西新教会 愛を運ぶ広報活動

主任司教が着任された頃のことです。神父様は「西新教会は、信徒のお一人おひとりが、ご自分の役割を果たしておられる」と言っていました。私も、この言葉を思い起こし、西新教会にも広報部があります。西新教会にも広報部があり、委員会と連携して活動しています。毎週の「お知らせ」とホームページ、臨時の連絡は130人登録の「お知らせメール」、来訪者委員会と連携して活動しています。毎週の「お知らせ」とホームページ、臨時の連絡は130人登録の「お知らせメール」、来訪者

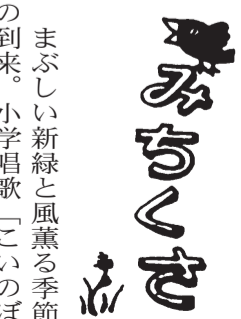


世界広報の日にあたって  
教会の広報を考える

毎年、日本では復活節第6主日（今年5月5日）に世界広報の日を記念します（多くの国では復活節第7主日）。主の昇天を記念する前週にあたり、そして聖霊降臨の主日につながります。キリスト者の大切な使命の一つは、イエス・キリストの福音を言葉と生き方で示す福音宣教です。イエス・キリストが使徒たちを通して伝えた、救いの福音を伝えるので



各教区の広報誌  
復活節に福音宣教（広報活動）の使命について考えるには理由があります。次週には主の昇天を祝いますが、その時、使徒たちに福音を伝える使命が明らかにされました。その後、復活節の結びとして聖霊降臨を祝い、それが福音宣教が聖霊の働きによって行われることが示されているのです。福音を伝えるためには、まず私たち自身が福音を受け止め、聖霊によって宣教が促さ



まぶしい新緑と風薫る季節の到来。小学唱歌「このぼりの波」の歌詞、「いらかの波と雲の波 重なる波の中空を 橘薫る朝風に 高く泳ぐや鯉のぼり」を口ずさんでみた。石川県金沢市で暮らしていた頃、家族や友人と風光明媚な能登半島をドライブで巡るのが楽しかった。珠洲市の「大谷川鯉のぼり川渡し」もその一つ。ロープを渡して400本以上の鯉のぼりが高く泳ぐ姿は壮観だった。そして、いらかの波が見渡せたのである。半島をドライブすると、目につくのは重厚で黒光りする瓦屋根の街並みだった。この屋根瓦は「能登瓦」と呼ばれており能登が産地である。「能登の風土には黒瓦が似合う」とまで言われている。能登半島地震の被災の様子がテレビ画面に映し出された時、民家の屋根瓦が崩れ落ちる様子、まるで地面に尻もちをついて倒れているような姿を見て心が痛んだ。黒い重厚な瓦屋根で統一された美しい家並みを、この先何年も見ることができないと思うと寂しさが増してくる。教区報3月号1面のお知らせ欄に「3月11日東日本大震災から13年」という見出しがあった。フランススコ教皇の言葉が引用されていた。「1人で復興できる人はいません。：展望と希望を回復させてくれる友人や兄弟姉妹との出会いが不可欠です」と。金沢の友人や知人から話を聞き、共に祈ることから繋がっていく支援が少しでも増えることを願う。そして、家族や友人などが連れ立って、高く泳ぐ鯉のぼりを見に行く日が早く来ることを、希望を持ち続けて祈ろう。（C）

世界広報の日・献金  
(5月5日 復活節第6主日)  
テーマ：AI (人工知能) と心の知恵  
真に人間らしいコミュニケーションのために  
「世界広報の日」は、第2バチカン公会議で定められ、1967年以來、毎年、特別のテーマが決められ、教皇メッセージが出されます。  
福音宣教はわたしたちの使命です。「世界広報の日」は、この福音宣教の分野の中でもとくに新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、映画、SNSなどの広報媒体を用いて行う宣教について、教会全体で考え、反省し、祈り、献金をささげる日です。  
今年の教皇メッセージは、教区ホームページや右記QRコードからご覧になれます。

5月25日(土)  
美野島司牧センター  
30周年記念ミサ  
日時：5月25日(土) 11:00より  
司式 ヨゼフ・アベイヤ司教 (福岡教区長)  
場所：美野島司牧センター (福岡市博多区美野島 2-5-31)  
ミサ後は祝賀パーティー、美野島司牧センター等が予定されています。詳細は右記QRコードからご確認ください。

MINOSHIMA PASTORAL CENTER  
30th Anniversary  
MAN DOES NOT LIVE ON BREAD ALONE  
美野島司牧センター  
5/25(土) SAT  
11:00-30周年記念ミサ

残念なこと全国紙の週刊「カトリック新聞」は別の形になりますが、福岡教区報はぜひ読んでいただきたいです。現在実施中の読者アンケートにもぜひご協力ください。ホームページ、アプリも活用できます。教区広報部

福音を伝えるためには、まず私たち自身が福音を受け止め、聖霊によって宣教が促さ

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。



### ◆ 福岡教区宣教司牧方針を受けて ◆

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。

「宣教司牧方針」は上記QRコードからご覧になれます。



#### miniFYCC 福岡地区青年会の取り組み



支え合う仲間の輪が広がりますように！

3月24日(日)14時から、旧カトリック神学院をお借りしてminiFYCCを行いました。

miniFYCCとは、福岡教区の青年有志が主催する中高生を対象とした宿泊キャンプ「FYCC」(Fukuoka Youth Catholic Camp)を日帰りで行う企画です。今回は、福岡地区、筑後地区、熊本地区の中高生約20人と、青年スタッフや神父様、シスターを含め、約35人が集まりました。

短い時間でも中高生同士が親交を深めることができ、教会って楽しい！と思ってもらえるように、レクリエーションを中心にプログラムを考えました。当日はあいにくの雨でしたが、神学院の食堂でのゲームや紙飛行機飛ばし大会、お菓子パーティーでは、終始笑い声が絶えない時間となりました。実はもっとゲームを企画していたのですが、盛り上がりすぎて時間が足りなくなりました。

夏には宿泊でのFYCCを準備中。同じ信仰をもつ同世代のなかま(友人)との出会いを通して、楽しい思い出をつくることできたらと思います。私もFYCCの卒業生ですが、その時出会った仲間と今も共に活動し、友人としてもたくさん支えられています。この仲間の輪がどんどん広がっていけばとても嬉しいです。詳細が決まり次第、各小教区にご案内しますので、中高生への呼びかけをどうぞよろしくお願いいたします。感謝のうちに。

福岡地区青年会 大名町教会 荒牧結花

中高時代はミッションスクールで過ごし、聖書を読んだり宗教曲を歌ったりしていた時期もあったのですが、随分長い間教会から離れたところから生きてきました。長年携わってきた職に終わりが見えてきた頃、心を大きく揺さぶられるようなことができなくなりました。分断や差別の大きな世界、対立や争い、道徳が通用しない身近なやりとり、自分の軸足を置いていた(確認としていたはずの)土台があっけなく壊れていきました。それをどのようにつなげたのか、途方に暮れた時、神



白い衣を受けた新受洗者たち(大名町教会の今年の復活徹夜祭にて)

その中心は週の初めの日(日曜日)で、主日、または主の日と呼ばれます。主キリストの復活を記念します。つまり、一年全体の流れからみれば、復活祭(主の復活)は年に一度ですが、じつは毎週の主日のミサでも、主の復活を祝っているのです。さらには、ミサ自体が主の復活の記念といつてもいいでしょう。ミサで「信仰の神秘」が繰り返されています。私たちは「主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえませよ。再び来られるときまで」と心掛けています。ミサでイエス・キリストによる神の救い

### 「復活祭」が続く「復活節」 主の復活を祝い続ける

復活節は、「主の復活」(今年3月31日)から「聖霊降臨の主日」(5月19日)までの50日間です。カトリック教会には「典礼暦」と呼ばれる独自の暦があり、この暦に従って、キリストの救いのわざを毎年思い起こし、一年を通して記念します。



洗礼の水を受ける大庭さん(右:徐神父)

大きな力に背中を押され アンナ大庭 幸子  
若松教会(主任徐仁徳神父)

1981年2月、長崎での吹雪の野外ミサ。来日された聖ヨハネパウロ二世教皇様から直接洗礼を受けられた方々を、震えながら眺めていた自分を思い出します。厳しい寒さの中、身じろぎもせず、お祈りを唱えておられた人々の姿に圧倒されたことも記憶に刻まれています。

### 洗礼のめぐみをお願い

福岡教区で、この春受洗された3人の方を紹介する。入信の秘跡(洗礼・堅信・聖体)を受けようと確信するに至った気持ち、それぞれに強く証しされている。神様からいただいた新たな人生を、めぐみのうちに歩まれることを祈りながら。

レリヤが声高らかに歌われているのです。復活祭で救いが完成されたように思われますが、とくに復活節の毎日を通して、私たちの救いは完成されていくのです。

それは突然のことでした。主人が脳梗塞となり緊急入院し、その後退院して2〜3日ほどたつたある日の夕食時、不意に「天国に行く。行きた」と主人が言い出したので、「さうなら君と一緒にいってほしい」と言われビックリしました。それまで主人は、洗礼はおろか教会に足を踏み入れた事もありませんでした。心の中では「本気なのかしら」と思い悩みましたが、よくよく話を聞きますと、「死んだら別々になるのが嫌だ。君と一緒に天国に行く」と繰り返すのです。とにかくパウロ神父様に話を聞いていただき、ことにしました。神父様からは、「1ヶ月の間教会に来てください」と言われ、主人は必死にミサに与りました。時には気分が悪くなり、横になりながら与りました。その姿をご覧になったからでしょうか、神父様に主人の決意を認めていただき、復活祭の受洗をめぐして準備を始めました。



五つの秘跡を受けた濱崎修さん(右:パウロ神父)

### 予期せぬできごと 大楠教会(主任パウロ・マスカルナス神父)

1年前から若松教会での御ミサに参加するようになりました。最初に教会の扉を叩いたのは私の意志でありました。その後は大きな力に背中を押され、神父様と教会の皆様に見守られて自然に洗礼への道が開かれていったように思います。洗礼を受けたとはいえないことばかりですが、心から勇気づけられたのは、信仰とは希望であり、私を強めてくれるということ。これからは、神様からのお恵みに感謝しながら、日々信仰生活を深めていけるように努力を続けてまいります。

### ルカ濱崎修

ところが志願式を終え、あと少しで洗礼式を迎えられると思っていた矢先に、主人が別の病室にかかっていることが分かり入院しなければならなくなりました。「洗礼は来年かな」と思い落胆してしましたら、思いがけず神父様からお電話をいただき、「3月

ネパール人のラムさんは3月20日(水)、聖マリア病院内の聖堂で、美野島のマルセル神父と、聖マリア病院チャプレンのピアッツィーニ神父より、かねてから念願だった洗礼を受けられました。



ラムさんが描いたマリアさま

2018年にトラブルに巻き込まれ在留資格が更新できずオーバーステイとなり入管施設に収容されてしまいました。2019年に運動中、ケガをしたが適切な治療を受けられないまま病状は悪化し、2021年には寝たきりの生活に。このままでは命も危ないと支援者の司祭や牧

光を求め続けて  
美野島司牧センター(代表マルセル・コース神父)

この日、私たちに五つの秘跡が成立しました。それは「洗礼」「堅信」「聖体」「結婚」「病者の塗油」です。イエス様は主人に、どんなお声をかけてくださったのでしょうか。

13日の水曜日に教会に来られますか？早く洗礼を受けて病気が癒やれることを望んでいます」と言われ、舞い上がるほど嬉しかったのを覚えています。

サンパウロ 福岡宣教センター  
営業時間: 10:00~18:00  
定休日: 日曜日・祝日  
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26  
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930  
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理  
なんでもお問い合わせください  
(株)ジャパン・スマイルか  
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子  
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号  
TEL 092-761-8800  
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業  
・一般住宅(新築・改築工事)  
・鉄骨工事  
・RC工事  
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください  
有限会社 森山工務店  
ヨゼフ 森山新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎(092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち  
草苑 (SOUEEN)  
カトリックのご葬儀  
互助会制度もご利用できます。  
木下株式会社  
TEL 092-526-5656  
〒810-0016  
福岡市中央区平和3丁目1-5



# 神父・船津亮太の

## ローマからの手紙1

久留米教会出身で、2020年7月に司祭に叙階された福岡教区司祭・船津亮太神父。叙階後は大名町教会と小倉教会の助任を務め、現在ローマに留学し、司祭としての研鑽を積んでいる。

そのような船津神父のローマでの留学生活の様子を、今号より3回にわたりお届けする。第1回目は、新生活についてのお話を寄せてもらった。



福岡教区の皆さん、ご復活おめでとうございます。私は福岡教区司祭の船津亮太と申します。現在ローマのウルバ

ノ大学で聖書神学の勉強をしています。ローマに来て2年が経とうとしています。到着した2022年5月、まだコロナが収束しておらずイタリアでもマスク着用が義務付けられていたのを覚えています。ヨゼフ・アベイヤ司教様の所属されているクラレチアン修道会の一

### 知りたい！ 福岡教区内の 修道会 宣教会②

福岡教区には現在30の修道会・宣教会から司祭・修道士・修道女が派遣され、それぞれのカリスマで働いておられます。一昨年春より紹介している、その修道会や宣教会。第22回は、ドミニコ修道会です。

### ドミニコ修道会

(左から) プ・リン神父、全・爽訓助祭、兵頭俊介会員、マリアーノ神父



ドミニコ修道会の正式名称は「説教者修道会 - Ordo Fratrum Praedicatorum (OP)」です

1206年に聖ドミニコ（聖母マリアがロザリオを与えた聖人）の説教に共感した人々が集まり結成され、教皇ホノリウス3世によって1216年に認可されました。教皇ホノリウス3世が教団を承認する勅書に書いているように、「福音を宣べ伝え」、そして「私たちの主イエズス・キリストの御名を全地に告げ知らせる」ために、「福音の貧困を抱きしめること」と「信

仰生活を公言し、生きることを目的としており、「Laudare, Benedicere, Praedicare」（賛美し、祝福し、説教する）、または「Contemplata aliis tradere」（自分の熟考の成果を他の人に与える）をモットーとしています。

ドミニコ会のメンバーは、たくさんの聖人、男性と女性の宗教家、神学者、神秘家、宣教師、殉教者、芸術家などの奉仕を通じて教会に忠実に仕えてきました。聖トマス・アクィナス、聖アルバート大王、シエナの聖カタリナ、リマの聖ローザ、聖ピオ五世、フラ・アンジェリコ（イタリア人の画家）、聖トマス西と長崎の15聖殉教者などが挙げられます。

日本においては、迫害された日本人キリシタンからの要請を受け、1600年にロザリオ管区が宣教師を日本に派遣しましたが、九州を中心に30年間しか活動できず、全員が殉教者となりました。その後1904年、四国に伝道所を設立し、いくつかの教会や学校（15）を建てました。1953年、カナダ管区は箱崎（福岡市）に伝道所を設立し、ドミニコ会士は九州大学で教師として、また教区司祭として働きました。2016年には、ロザリオ管区のドミニコ会士が引き継ぎ、それ以来、箱崎小教区を発展させ、教区を支援し続けています。同時に、このコミュニティは、司祭として叙階される準備をし、日本で宣教師になることを願って日本語と日本文化を学ぶ若いアジアのドミニコ会士にとっての拠点にもなっています。

箱崎教会 主任 マリアーノ・ゴンザレス・マルチン神父

母と子、そしてロシアから来た学生も同じクラスで学んでいました。彼女たちは国籍と個人の人格とを切り離して互いに接しあっていたのだらうと思います。

現在、福音宣教師省管轄のコレジオ・サンピエトロに住んでいます。49カ国から集まった173人の司祭が共に生活しています。ミサは毎日、まるで叙階式のように大勢で共同司式をし、聖堂内は男声合唱が響き渡り、食堂では皆ワイワイガヤガヤと喋りながら食べています。とにかくいつも賑やかです。

友だちからは、私の名前で「リョータ」と呼ばれています。ナポリの小教区にお手伝に行つたときは、洗礼名で「パードレ・ピエトロ（ペトロ神父）」と呼ばれていました。そのように呼ばれる生活を密かに楽しんでる自分があります。

ゆるしの秘跡はいつも決まった友だちの司祭にお願いし、霊的に支え合いながら歩んでいます。食事はイタリア料理、基本バスタです。野菜と果物は陽の光を燦々と浴び、美味しいです。けれども北九州の若松トマト、食べたいなあ。

フエイヌブックを始めました（Ryota Funatsu と検索）。福岡とローマ、遠く離れていてもSNS、そして折りを通じて皆さんと繋がれたらいいな。



新しい祭壇でのミサ（左から浦川神父・アベイヤ司教・十時神父・川口神父・渡辺神父）

### 純心聖母会 大江修道院閉院 姉妹たちと教会共同体、 それぞれの新たな門出を祝して



次回もお楽しみに！船津神父

春雨傘の花が咲く3月17日（日）、12年もの間、天草3教会（崎津・本渡・大江）があるこの地で、教会共同体と



美しいハーモニーで12年の感謝を伝えるシスターたち

訪れた巡礼者・観光客に奉仕をしてきた純心聖母会・大江修道院の閉院にあたり、感謝ミサが執り行われた。主司式にヨゼフ・アベイヤ司教、共同司式には教区事務局長・十時伸治神父、主任司祭の浦川神父と前々主任の渡辺隆義神父に加え、大江教会出身の川口敏神父（大分教区）が参列した信徒は大江教会のみならず、主任司祭が兼任する崎津・本渡教会から駆けつけた約70人、そして純心聖母会から総長、副総長、本部役員、大江修道院に派遣された歴代のシスターたち合わせて12人で、ともに祈りを捧げた。

シスターたちは3教会兼任で多用な司祭に代わり、信仰教育・典礼の手伝いはもとより、拝観者に傾聴し、ゴミの片付けまでも携わってきた。感謝式で挨拶に立った総長・

料理、基本バスタです。野菜と果物は陽の光を燦々と浴び、美味しいです。けれども北九州の若松トマト、食べたいなあ。

フエイヌブックを始めました（Ryota Funatsu と検索）。福岡とローマ、遠く離れていてもSNS、そして折りを通じて皆さんと繋がれたらいいな。

「現役」の教会学校の子どもたちが「シスターたちはとても優しく、クリスマスパーティーを準備してくれたりもした」と楽しそうに話す一方、「二元」生徒からは「厳しかった。要理の勉強をいかにさぼるかしか考えていなかった（笑）」というジェネレーション



歓声の中、信徒のアーチをくぐるシスターたち

「シスターたちは3教会兼任で多用な司祭に代わり、信仰教育・典礼の手伝いはもとより、拝観者に傾聴し、ゴミの片付けまでも携わってきた。感謝式で挨拶に立った総長・

大江に赴任し奉仕してきたシスターたち一人ひとりが紹介され、そのたびに、シスターたちがいつくしみ育んできた教会学校の子どもたちから花束が贈呈された。そして、シスターたちからも「私の祈りを聞いてください」という歌のプレゼントがあった。

「現役」の教会学校の子どもたちが「シスターたちはとても優しく、クリスマスパーティーを準備してくれたりもした」と楽しそうに話す一方、「二元」生徒からは「厳しかった。要理の勉強をいかにさぼるかしか考えていなかった（笑）」というジェネレーション

3月20日（水・祝）に行われた「シスターと一緒に話してみませんか」は、今回で3回目を迎えました。各教会から9人の方が参加してくださいました。

毎回、聖書からイエス様のことを皆で分かち合っています。今回は『見失った羊』の話をテーマに、制作作業を通して、自分の思い、考え、状況を見ることができ、また参加者との分かち合いによって色々な面で豊かに満たされました。この集いのためにご協力くださった神父様、信徒の皆さまに心より感謝いたします。

次回は9月の予定です。お待ちしております。聖心のウルスラ宣教女修道会 Sr. 松永みか



美味しいランチとおやつのおもてなしに感謝

「カトリック生活」(2024年3月で休刊)で、折に触れ紹介された、家庭で作る本格イタリア料理。オールカラーの写真は見ているだけでも楽しく、作ってみると簡単で、そして筆者のショートエッセイを読んで「うーん」と考えて「心も身体もよろこぶレシピが満載の1冊」。

ドン・ボスコ社発行  
税込価格1320円

心も身体もよろこぶ  
イタリアン!

BOOK  
読み専科

☆心も身体もよろこぶ  
ちでイタリアン! 中川まや(著)

広告掲載をご希望の方は  
下記までお問い合わせください

福岡教区本部事務局 広報部  
電話 : 092-522-4059  
メール : cdf-kouhou@nifty.com

※この枠で1回(ひと月)5,000円の献金(目安)をお願いしております。  
※内容によってはお断りさせていただく場合もございます。あらかじめご理解とご了承のほどをお願いいたします。

社会医療法人 雪の聖母会

**聖マリア病院**

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422  
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

**聖マリアヘルスケアセンター**

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5  
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん  
と一緒に働いてみませんか

URL : <http://www.st-mary-med.or.jp/>



年間目標

互いに支え合う  
交わりの教会となる

仁川教区から司教・司祭団訪問

合同記念ミサ 6月10日(月) 17時～  
於：カテドラル大名町教会

6月10日(月)から14日(金)まで、仁川教区から、洗礼者ヨハネ・ジュン・シン・チャル司教様と15人の司祭による訪問団が福岡教区を訪問されます。

仁川教区と福岡教区の関係については、仁川教区から徐仁徳神父様及び申東輝神父様を派遣して下さっていると同時に、昨年は、仁川教区のご厚意により教区司祭の黙想会を仁川教区の黙想の家で実施いたしました。今回の訪問団により、両教区の交流は更に深められていくでしょう。

6月10日(月)17時からミサには、信徒の皆さんもぜひご参加ください。ヨゼフ・アペイヤ

福岡教区ハンドブック 2024 発行

ハンドブック 2024 は、5月中旬に発送予定です。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

◆典礼暦、教区・地区の主な行事が一目で分かるカレンダー。小教区・委員会で集いや行事を計画するときに便利です。

◆《信徒の心得》では秘跡や教会生活の基本を知ることができます。

◆《祈り》《ゆるしの秘跡の受け方》《霊的読書(レクチオ・ディヴィナ)》の手引きも掲載。個人やグループでご活用ください。

◆掲載されているミサ時間は変更になることもあります。

※スマホやPC用にPDFによる配布も行なっています。詳細は、各小教区にお知らせを配布いたしますので、ご覧の上お申し付けください。

第83回 福岡典礼聖歌研修会

[日 時] 5月12日(日) 14時～16時  
[場 所] カトリック浄水通教会  
[内 容] 「祭日の典礼聖歌」  
[講 師] 深堀 純氏 ※参加費：感謝献金  
[問合せ先] TEL092-541-3730 松山  
※典礼聖歌集をご持参ください。

召命を共に祈る会

福岡地区 5月21日(火) 13時30分～ 大名町教会  
〔問合せ先〕 ☎ 092・921・4532 山口  
北九州地区 5月11日(土) 14時～ 小倉教会  
〔問合せ先〕 ☎ 0949・24・9905 藤井  
熊本地区 5月13日(月) 9時50分～ 手取教会  
〔問合せ先〕 ☎ 090・4340・1631 堤

各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報5月号」、または右記QRコードからご確認ください。



お詫びと訂正

教区報4月号 2面 宣教司牧方針を受けて大名町教会 信徒会長 ×吉田 茂雄 ⇒ ○吉田 俊雄 訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

福岡教区・広報室からのお願い

広報委員会・教区報部では、教区報の読者アンケートを実施中です。用紙は各教会に配布したもの、もしくは教区ホームページかQRコードからご覧ください。多くの声をお聞かせいただければ幸いです。



福岡教区広報室アドレス  
https://fukuoka.catholic.jp  
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

各教区の広報紙、ホームページアドレス



左記QRコードからご覧ください。(W)

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡教区の神学生紹介  
神学生のためにどうぞお祈りください



ヨゼフ・ヴォ・タ・フォン  
1996.8.28 生  
ベトナム・ヴィン教区  
所属  
ベトナム・ヴィン神学校  
哲学科1年



ヨゼフ・グエン・グアン・ティ  
2001.3.13 生  
ベトナム・バンメト  
ト教区所属  
ベトナム・ヴィン神学校  
予科1年

※各QRコードから、彼らを紹介した過去記事をご覧ください

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：真の幸せへの道  
日 時：5月9日(木) 10時～15時  
内 容：「柔和な人々は、幸いである」  
指 導 者：Sr.マリア・デ・ジョルジ(マリア布教修道女会)  
次 回：6月13日(木) 10時～15時  
内 容：「義に飢え渴く人々は、幸いである」  
指 導 者：C.クラウディオ神父(聖ザベリオ宣教会)  
問 合 せ 先：真命山諸宗教対話センター  
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186  
熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7  
E-mail shinmeizan@gmail.com  
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

美野島司牧センター  
ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時  
ホームレス支援炊き出し  
第1・第3金曜日  
調理 14時 夜回り 20時  
路上からアパートに入居し

集いの詳細は、  
各問合せ先に  
お尋ねください。

大濠カトリック会館・宣教養成センター  
ミニアサロン大濠  
第1・第3水曜日10時  
〔問合せ先〕 ☎ 090・5940・1344(角田)

若葉の季節になりました。どちらかというと「梅派」の私は葉桜が大好きです。みずみずしいのちを感じますし、日々パソコンとのにらめっこで酷使している目を優しく癒してくれます。

編集後記

教区報の5月号も、1面のテーマカラーは「若草色」です。祈りの意向の「5月」の背景色に始まり、巻頭言のタイトルバックなどがその色になっっています。ちなみに4月は桜でピンク色、6月は梅雨で雨川水で水色、秋は紅葉のオレンジ系、典礼に合わせた四旬節は紫色等々。これにお

Rumbo al Japón: Un salto de fe y amor  
日本への旅：信仰と愛の飛躍  
Sergio Humberto Peña Quintero (Colombia)

Me llamo Sergio Humberto Peña Quintero, y mi viaje a Japón comenzó con un salto de fe y amor. En 2016, me casé con mi querida esposa y ahora tenemos un hijo hermoso. ¡Vivir en Japón ha sido un sueño hecho realidad, especialmente porque encontré una comunidad acogedora en la Iglesia Católica Takeo!

Adaptarse a Japón no fue fácil. El idioma, aunque lo había estudiado, era todo un reto. ¡Y la cultura! Acostumbrarme a las costumbres más reservadas de los japoneses, viniendo de la calidez y efusividad de Colombia, requirió paciencia.

Pero la gente japonesa me ha acogido con cariño. Su amabilidad y el respeto profundo que se tienen han cautivado mi corazón. Mi fe también ha sido fundamental en mi adaptación. Ver la sonrisa de mi hijo me llena del amor de Dios, y somos afortunados de tener una iglesia católica única cerca, la Iglesia Católica Takeo.

Allí adoramos en tatamis, lo que la hace una iglesia muy especial. Los feligreses nos han recibido con los brazos abiertos desde el principio. El Padre Johannes I Ha Nun ha sido increíble. ¡El bautizó a nuestro hijo y ofició nuestra boda católica, incluso haciendo algunas de las decoraciones él mismo! ¡Nos sentimos muy bendecidos de tener esta hermosa comunidad!



My son's baptism by Father I Ha Nun of Takeo Catholic Church. 息子ルカちゃんの、イ・ハヌン神父による洗礼式

Vivir en Japón ha fortalecido mi fe y mi aprecio por la familia. Espero en un futuro donde celebremos nuestras diferencias y encontremos unidad en nuestra humanidad compartida. A los que piensan mudarse a Japón, les aconsejo que aprendan algo de japonés y saboreen sus comidas favoritas de casa. ¡Tal vez las extrañen!

※日本語訳は右記QRコードからお読みください。



私たちと一緒に  
おはなしませんか?  
安心してお話が出来る人をお探しの方へ。  
メール: hanahanahimawari2020@gmail.com  
☎: 080-4735-6971 (9:00-21:00)  
※対応できないときもあります。  
※原則1回30分です。  
LINE 右記QRコード  
「ぶろじゅくとHana」  
ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍しています。ひとりでも悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

福岡教区セクハラ対応窓口  
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談  
セクシュアル・ハラスメント相談窓口  
電話 080-2694-4182  
受付時間 月～金(祝日を除く)  
10:00～12:00 13:00～16:00